

令和6年度 秋田市地域福祉活動研修会

少子高齢化や人口減少、核家族化、地域のつながりや近隣の人間関係の希薄化、新型コロナウイルスの影響等により、生活困窮世帯の増加など、地域住民が抱える課題が複雑化・多様化しています。

また、昨年発生した甚大な大雨災害は被災者の日常生活を一変し、住み慣れた家に住めなくなるなど、家屋や被災者の心理にも大きな爪痕を残しました。

今回の研修会では、平常時からの地域との関わりが災害時の助け合いに役立ったという当事者からの経験を伺い、見守りネットワークや地域サロンなど平常時の取り組みがいかに大切かを学び、更なる地域福祉活動の推進を図るものです。

日時 令和6年7月8日(月) 13:30~15:30

会場 あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

〒010-0875 秋田市千秋明德町2-52 TEL 018-838-5822

13:40

講演 「お互いさま情報交換会から見えてきたもの
～地域が持っている情報力!～」

講師 岩手県雫石町社会福祉協議会 主査 渡邊幸子氏

14:40

パネルディスカッション

司会 秋田市社会福祉協議会 地域支え合いセンター

スーパーバイザー (秋田災害支援プロジェクト alecole)

千葉菜津樹

パネリスト

岩手県雫石町社会福祉協議会 主査 渡邊幸子氏

旭川地区民生児童委員協議会 民生委員 新林光幸氏

檜山町内会 会長 伊藤達男氏

秋田市社会福祉協議会 地域福祉課課長補佐兼

地域支え合いセンター リーダー 戸島健人

入場 無料

対象 地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、町内会長
福祉協力員、福祉に関心のある市民の方